

設計に、素材に、冒険心あふれる提案

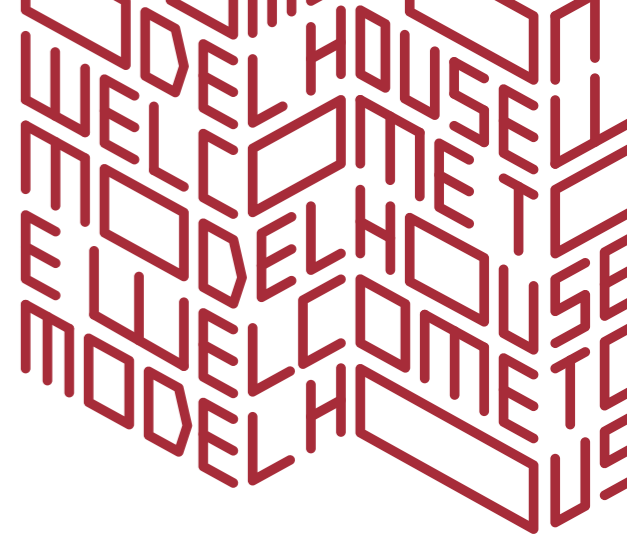
建物の形がまず印象的だ。斜めになった外壁が庭とテラスを囲んでいる。室内に入ると、外とつながるLDKはもちろん、家の隅々まで光と風がめぐり、ユニークな素材や設備が目を引き。設計や素材使いを果敢に攻めたモデルハウスだ。



右頁／田園に面した南側は特徴的な外観に、台形の敷地にならない、明るさを確保しつつ左右からの視線を遮るべく、この形が導かれた。採用 下右／斜めに設けられた真四角のアイランドキッチンの壁には、棚を造作。黒いパネルはブラックボードで黒板のように使える。下左／階段のステップは、ね返り、落ちてくる。壁面のクロスは石目調。



左頁・上／LDKの一角には小上がりの和室。畳は市松模様。TVの裏には石を



外と大きくつながりながら プライバシーに浸れる 「く」の字型のLDK

正面に立つと、鏡面の外壁材が目を引きスクエアな外観。裏側に回ると、まったく違う形が現れる。建物の両側から大小の三角形が腕を伸ばし、まるで組み合うように家を守っている。この形は、台形という変形の敷地と、眺めを最大限に取り込むというテーマから導かれた。

モデルハウスを建てるにあたり、分譲地の一角、台形の敷地を選んだのは二つの理由があった。一つには、変形地だと、面白い設計アイデアが生まれるから。もう一つには、台形の斜辺と接する三角形の田んぼに今後、家は建てられないであろう、つまり家の中から眺めた時、田園から東山を望む広がりが見えなくなるという予測があった。設計を担当した目黒誠

さんは「最も重要だったのはレイアウト。プランにあたっては、眺望を生かすことが大前提になりました」と言う。ただし、左右に建つ住宅からの視線は遮りたい。そのため考え出されたのが、あの斜めの線と三角形の外壁だった。

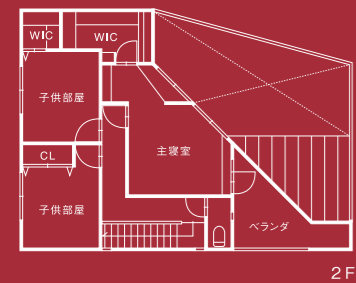
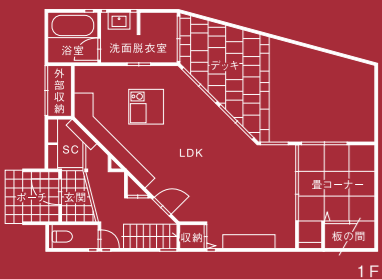
次なる課題は、室内に明るさを行き渡らせること。目黒さんは「陽の当たるところに、すべての部屋を持つていこう」と考え、開口部を「く」の字型に切ったLDKは、土地にならった個性的な形に。脱衣室やランドリースペースも陽光の差し込む場所に置き、さらに2階の寝室も真南の線に添ってレイアウトした。こうして、昼間は最高に明るいのに、プライバシーは確保されるという、絶妙な環境が実現された。

さて、室内をめくってみると、素材使いや設備、選ばれたクロスに、冒険心が見える。アイランドキッチンには真四角で、外壁材は鏡面。クロスはデニム柄、モルタル柄、下地材のOSBボード柄と、実にユニークだ。さらに和のコーナーの畳は、ハイブランドのタミエ柄風。「ショッブでいえば旗艦店。ディテールホールの家づくりの幅を、突出した部分によって提示したかった。一定期間、公開された後、販売されるモデルハウスが目立つ昨今、このアプローチは意外かもしれない。ただ、振り幅を見せることで、家づくりの可能性が拓かれていくのも事実。もちろん、さまざまな素材や製品の実物見本としても利用でき、それぞれの目的に応じて、答えをくれるモデルハウスだ。

上／キッチンからリビングスペースと小上がりの和室を見る。床と天井には無垢のチークを張った。ソファは背もたれを収納できるタイプ 下右／2階の寝室は真南の線に沿ってレイアウト。床はアカシア 下中／洗面台や鏡も造作 下左／小上がりの和室の天井にもチークを延ばしてLDKと一体化させている。床と天井、ギリギリに設けた大きな窓によって、外が近く、開放感いっぱい



LAYOUT



DATA

木造2階建
敷地面積 / 181.13㎡ (54.68坪)
建築面積 / 67.21㎡ (20.29坪)
1階面積 / 65.00㎡ (19.62坪)
2階面積 / 58.38㎡ (17.62坪)
延床面積 / 123.38㎡ (37.25坪)

■所在地:長岡市曙2丁目
■予約制



ディテールホーム
／坂井建設株式会社

〒940-2121 長岡市喜多町386 コパスプラザ1F
Tel 0258-89-7011 Fax 0258-89-7018
フリーダイヤル 0120-701-163
詳しい企業情報は「ビルダーズスクエア」をご覧ください。



資料請求をして頂いた方先着30名様にクオ・カード500円分をプレゼント。※詳細は227ページをご覧ください。スマートフォンからでも資料請求できます。



景色と室内をつなげる設計

「く」の字型に切った2面の開口部からは、庭の向こうに田園風景が望める。風景とLDKの間に外壁で囲われた庭とテラスを設けることで、外と内をゆるやかにつなげている。



台形の敷地をいかした形に

玄関の反対側、田園風景を望む面は、斜めの外壁によって囲まれている。「く」の字型に凹んだLDKと壁の間には芝生の庭とテラス。両隣りからの視線を遮りつつ、くつろげるように計算された。



素材や造作にあふれる冒険心

新しい素材や柄、デザインを積極的に採用。外壁には黒い鏡面の外壁材をあしらひ、室内ではユニークな柄のクロスを選び、使っている。デニムのほか、モルタル、下地材であるOSBボードなど建築材の柄も。また曲面の飾り棚兼本棚も造作。